

第44回平成24年5月臨時会会議録(第3号)

招集年月日 平成24年5月10日

開閉会日時 午前9時33分 開会 ～ 午前9時45分 閉会

招集の場所 与謝野町議会会議場

1番	野村生八	10番	山添藤真
2番	和田裕之	11番	小林庸夫
3番	有吉正	12番	多田正成
4番	杉上忠義	13番	井田義之
5番	塩見晋	14番	糸井満雄
6番	宮崎有平	15番	勢旗毅
7番	伊藤幸男	16番	谷口忠弘
8番	浪江郁雄	17番	今田博文
9番	家城功	18番	赤松孝一

2. 欠席議員(なし)

3. 職務のため議場に出席した者

議会事務局長 秋山 誠 書記 土田 安子

4. 地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者

町長	太田 貴美	代表監査委員	足立 正人
副町長	堀口 卓也	教育長	垣中 均(欠席)
企画財政課長	浪江 学	教育委員長	白杉 直久
総務課長	奥野 稔	商工観光課長	長島 栄作
岩滝地域振興課長	中上 敏朗	農林課長	長島 洋視
野田川地域振興課長	浪江 昭人	教育推進課長	小池 信助
加悦地域振興課長	森岡 克成	教育次長	和田 茂
税務課長	日高 勝典	下水道課長	西村 良久
住民環境課主幹	城崎 敏一	水道課長	吉田 達雄
会計室長	飯澤嘉代子	保健課長	泉谷 貞行
建設課長	西原 正樹	福祉課長	佐賀 義之

5. 議事日程（第1号）

日程第 1 議案第57号 与謝野町監査委員の選任について

（提案理由説明～表決）

日程第 2 閉会中の継続審査（調査）申出書

6. 議事の経過

(開会 午前9時33分)

議長 (赤松孝一) 皆さん、おはようございます。

議会の開会に先立ちまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

「目に青葉、山ホホトキス、初がつお」とうたわれますように、大変新緑の美しい時期となりました。

さて、昨日、行われました議長選挙によりまして、未熟者ではありますが、議長という要職の榮に属することができました。

まず、冒頭に厚かましくも議場内の皆様をお願いいたしますが、議会運営に対しまして、何とぞ格段のご協力を慎んでお願いを申し上げます。

ところで、「和をもって尊しとなす」という言葉が聖徳太子の17条の憲法にあります。これは、ややもするとみんなが仲よく丸くという意味にとらわれがちでございますが、本来の趣旨は自由闊達な論議をなささいという意味ださうです。私は、この精神を議会運営の中心に置きたいと、こんなふう考えています。そして今、私たちの、このふるさとであります与謝野町、また、近隣を見ましても、非常に住民の生活は、この日本経済はもとより、特に地域経済の衰えにより深刻な状況下にあります。「民のかまど」という仁徳天皇のお話がありますが、これは天皇が都を見渡しますと、煙が庶民の家からのぼっていないと、夕飯時になっても、たくものがないから貧しくて困っているんだらうと、都がこうであるならば、地方はなおさらひどいであらうと、こんな心配のもとに、簡単にいいますと、3年間の減免をすると、3年間の税を免ずるといってお話であります。

時代背景も違いますし、ただ、こういった本当に民の苦しみを思い、今後の行政、そして、議会も、ともに歩んでいかなければならないと、こんなふうに覚悟をしています。本町におきましても、今後、行政と議会とがお互いに政策、財政論議を重ね、向こう3年間、税を免ずに等しいと思われるような施策を実現したいものであります。

それでは、職員、議員、各位のご理解とご協力のもとに議会のさらなる充実を図り、強いては、それらが住民福祉の向上と行財政改革の推進に寄与できますことを、こいねがひまして、ごあいさついたします。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ここでご報告を申し上げます。垣中教育長より公務のため欠席の届が出ています。また、朝倉住民環境課長にかわり城崎主幹が出席をされておられます。

ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付しております議事日程に従い進めます。

日程第1 議案第57号、与謝野町監査委員の選任についてを議題とします。

ここで地方自治法第117条の規定により糸井議員の除斥を求めます。

(糸井議員 退場)

議長 (赤松孝一) 提案説明を求めます。

太田町長。

町 長（太田貴美） 皆さん、おはようございます。

それでは、議案第57号 与謝野町監査委員の選任について、提案理由のご説明を申し上げます。

5月9日から欠員となっておりました議会選出の監査委員につきまして、議会から選出していただきました糸井満雄氏を人格高潔で監査委員として最適者として選任したく、地方自治法の定めによりご提案申し上げるものでございます。

よろしくご審議いただき、ご承認いただきますようお願い申し上げます。

議 長（赤松孝一） これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議 長（赤松孝一） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

討論を省略し、採決を行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議 長（赤松孝一） 異議なしと認めます。

これより議案第57号を採決します。

本案について原案のとおり同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議 長（赤松孝一） ご異議なしと認めます。

よって、議案第57号 与謝野町監査委員の選任については、原案のとおり同意されました。

ここで糸井議員の除斥を解きます。

暫時休憩をします。

（糸井議員 入場）

（休憩 午前 9時36分）

（再開 午前 3時36分）

議 長（赤松孝一） 休憩を閉じ、本会議を再開します。

日程第2 閉会中の継続審査（調査）申出書についてを議題とします。

各常任委員長及び議会運営委員長並びに議会広報特別委員長から会議規則第73条の規定によりお手元に配付しました申出書のとおり、閉会中の継続審査（調査）申し出があります。

お諮りします。

委員長から申し出のとおり閉会中の継続審査及び調査に付することについてご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議 長（赤松孝一） ご異議なしと認めます。

したがって、委員長から申し出のとおり、継続審査及び調査に付することに決定しました。

以上で、本臨時会の日程は全部終了しました。

ここで、前議長 井田議員から発言の申し出がありますので、これを受けます。

井田議員。

13番（井田義之） 皆さん、おはようございます。

与謝野町議会の第3代の議長の退任に当たり、お礼のごあいさつを申し上げます。

2年間を振り返ってみますと、平成18年に加悦、岩滝、野田川の3町が合併した与謝野町にとって、新しい町の節目となる5年目、6年目でありました。多くの行事、事業に、私としては恵まれた2年間であったと感謝をいたしております。与謝野町では有線テレビの拡張事業が完成し、開通式典に参加、また、合併5周年事業として岩滝大名行列が10年ぶりに実施され、すばらしい体験もさせていただきました。

府の事業では、宮津、与謝野間の高規格道路の開通式や丹後縦貫林道の丹後町から国道312号線の三戸谷まで全線が完成、奥寄線の開通式ではテープカットもさせていただきました。国の事業でも第26回国民文化祭が京都府で開催され、イベントもあわせ与謝蕪村顕彰俳句大会が実施され、いろいろな会場へ参加し、楽しませていただきました。

加えて木崎良子選手のオリンピック出場、与謝野町でも旧3町でも初めての快挙であり、与謝野町初の名誉町民の誕生やロンドンオリンピック女子マラソン出場の激励会にも参加したり、本会議場からエールを送ることもできました。

議会といたしましても、昨年の東日本大震災に対する募金活動もいち早く実施していただき、私たちの気持ちを届けることができました。まだまだ、心配な部分はいっぱいありますが、そして、私が一番皆さんとともに喜びたいのは議会活性化委員会の皆さんを中心に3月3日、10日、17日と議会懇談会の実施をしたこと、また、議会基本条例の制定で、全議員18人が心一つになったことであります。これは与謝野町議会の議会改革の第一ステージの到着点であるとともに、与謝野町議会にとって、これから議会改革の第二ステージに向かって進まなければならないのではないのでしょうか。そして、その第二ステージはゴールのない道ではないかと思っております。

これまで以上に与謝野町議会が一致団結して、町民の方々と一体となり、名実ともに我々の目指す二代表制の確立に向かって進んでいかなければならないと考えています。

結びになりますが、こうして振り返ってみますと、忙しさを楽しみながらやらせていただきました。そんな思いであります。改めて2年間を支えてくださった議会の皆さん、行政の皆さん、町民の皆様やお世話になった多くの方々に感謝を申し上げ、私の退任のあいさつとさせていただきます。

本当に皆さん、ありがとうございました。

(拍手)

議長（赤松孝一） 次に、太田町長から発言の申し出がありますので、これをお受けいたします。
太田町長。

町長（太田貴美） 本臨時会を閉会するに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本臨時会におきましては、平成23年度の水道事業会計予算繰越のご報告1件と、道路陥没による車両の物損事故に係る和解、及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告1件、さらに一般会計補正予算、簡易水道、下水道及び国民健康保険の各特別会計補正予算の専決処分の承認案件、条例の一部改正2件の専決処分の承認、財産区管理委員の選任に係る専決処分の承認案件の議案をご審議いただき、原案どおりご承認いただきました。まことにありがとうございました。

特に各会計の補正予算では、各事業に係る不用額を減額するなど、整理をさせていただいたも

のでございます。また、本臨時会において、正副議長が交代され、新たに井田議長から赤松議長、そして、谷口副議長から今田副議長が、それぞれご就任をされました。今後の議会運営に、これまでの議員の経験を生かされた卓越した手腕を発揮されるものと思っております。

さらに議会選出の監査委員には新たに糸井議員がご就任され、それぞれの常任委員会も新たな構成に変わられました。今後におきましても、立場は違いましても、ともに町民の皆さんの暮らしを守るため一生懸命頑張ってくださいとお願いしております議員の皆様とともに、当町の諸施策に対し、これまで同様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、本臨時会の閉会のごあいさつとさせていただきます。

どうもありがとうございました。今後とも一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長（赤松孝一） これをもちまして、第44回平成24年5月臨時会を閉会いたします。
お疲れさまでございました。

（閉会 午前 9時45分）

この会議録の内容が正確であることを証するため、地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

与謝野町議会 議長

同 議員

同 議員